



“いつでも・どこでも・だれでも”  
楽しく生涯学習活動をしてみませんか?

## 「熊野町立図書館 ボランティア」



平成17年7月にオープンした「熊野町立図書館」も、アツという間に2年目を迎えました。この図書館の運営には、当初から「図書館ボランティア」の方々の支えが大きな力となつています。今回は、そのボランティア活動をご紹介します。

静かな館内から聞こえる「コト、コト」という小さな音。これは、配架(返却された図書を、元の書棚に戻すこと)の際に聞こえてくる音です。図書館の開館当初から活動されている松田さんと荒瀧さんが、約2時間かけて約5万8千冊ある本の中に、返却されてきた本を一つ一つ戻していき



作業の合間にお話を伺うと、「いろいろな本を目にするので、視野も広がりました」「足腰の運動にも繋がりが、疲れも、とても心地良く感じますよ」という返事が。本当に楽しく活動されている様子ですが、皆さんにも伝わるのではないかと思っています。この配架の他にも、本に透明なカバーを貼り付ける作業(資料装備といいますが)、イベント等の中には準備も行ったりするそうです。

現在のボランティア登録数は、個人が13人と、2つの団体。活動内容も、児童を対象にしたお話会や、壁面飾り(生きがいデイサービスによる作成)、パソコン利用についてのITボランティアなど様々です。

松田さん荒瀧さんは「ボランティアの登録が増え、もともと多くの方に図書館へ来ていただきたいです」とのこと。身近に出来る社会奉仕活動として、人や本に触れ合う場として、気軽に図書館に足を運んでみてはいかがでしょうか?そこには、自分がこれまで気付かなかった新たな発見があるかもしれませんよ。



手作りの壁面飾り

ボランティアの登録に関することは、次の問い合わせ先まで。

**問い合わせ先**  
熊野町立図書館  
電話 855-6710  
まで

### あとかぎ

梅雨の季節とはいえ、局地的な豪雨をもたらす各地に大きな災害を引き起こしている。これも、地球温暖化のせいなのか。災害のための安全対策には十分気を付けたい。

梅雨があければ、暑い夏が来る。広島・長崎に原爆が投下されてから62年目の夏。「こんな苦しみは私だけではない。子供や、孫たちには核兵器のない平和な世界であってほしい」年配女性の話が心に残る。被爆者の方も高齢化し残された時間も多くはない。非核町宣言の町として、2度と核兵器が使われることのない平和な世界を目指して、「核兵器の廃絶」の声を広げていきたい。

白築 美敏

次の定例会は、  
**9月12日(水曜日)**  
開会を予定しています

議会だより題字  
**世木田江山さん**

表紙写真  
**プール開きの様子**  
(くまの・みらい保育園)

今回から、これまでの荒谷大丘さんの題字(約4年)から、世木田江山さんになりました。世木田さんは、熊野町出身の書道家で、先日、絵画と書道の「二人展」を筆の里工房で開催するなど、精力的にご活躍されています。